

航本空調機密第六號ノ九ノ二

昭和十三年五月五日

臺海軍航空本部教育部々員

海軍航空本部總務部長 啟

軍機秘書類送付票

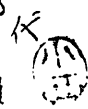
一、支那事變關係航空機（搭乗員）重要缺損調査表 其ノ四 壹部

但シ航本空調機密第六號ノ八 軍機秘 其ノ四 $\frac{8}{30}$

一、支那事變關係航空機ノ行動ニ影響セシ故障調査表 其ノ四 壹部

但シ航本空調機密第六號ノ九 軍機秘 其ノ四 $\frac{8}{30}$

(終)



1806

航本空調機密第六號ノ八

昭和十三年四月三十日

軍極秘

83
30

支那事變關係航空機（搭乗員）重要缺損調査表 其ノ四

海軍航空本部教育部

處分法	容 内		
	本文	註記	目次
用済後必要焼却	二〇頁	一頁	一頁

1807

支那事變關係航空機（搭乗員）重要缺損調査表 其ノ四

目次

一、支那事變關係	（自一三、三〇）	航空機缺損表	（第一表）	一一一	二頁	
二、支那事變關係	（自一三、三〇）	航空機搭乗員戰死者	（行方不明者ヲ含ム）	者員數表	（第二表）	一一三
三、支那事變關係	航空機搭乗員重傷者員數表	（第三表）	一一四	四		
四、所轄別航空機（搭乗員）缺損調査表	（第四表）	一一五	五			

（終）

(註記)

各表ハ昭和十三年三月一日以降同年四月三十日迄ノ期間ニ航本教育部ニ於テ接受セル戦闘概報、諸情報及昭和十二年八月二十八日第三艦隊機密第八八〇番電ニ依ル週間消耗報告等ニ依リ調査ス

(参照)

一二、八、二八

(發) 第三艦隊長官
宛 關係各部

機密第八八〇番電

事變發生ヨリ八月二十八日迄ノ航空機ノ消耗數、受補給數、現在數、各機種別ニ報告スルト共ニ航空本部長ニ通報スベシ追テ今後ハ一週間毎ニ本報告(通報)ヲナスベシ

(終)

支那事變關係航空機並ニ搭乗員損耗調査摘録

1810

(第一表)

支那事變關係(自一三三三〇一)航空機損表

(一三三三〇調)

所轄種	機種														
	陸攻	艦戰	艦爆	艦	攻	水偵	偵偵	偵偵	偵偵	偵偵	偵偵	偵偵	偵偵	偵偵	偵偵
九五九六九〇九五九六九四九六八九九二九六九七九四九五九七九一															
計	(一)二														
鹿空															
木空															
加賀															
蒼龍															
足柄															
沖島															
香久丸															
神川丸															
十二空															
十三空															
支那方面艦隊															
四F															
佐領															
計	(一)六														
果計	(一)三九	(二)四三	(三)三五	(四)六											
(一)六		(二)六六	(三)四五	(四)三											
(二)二		(一)五二	(二)三三	(三)〇											
(七)二		(一)二四	(二)八	(三)一											
(六)二		(一)六二	(二)一九	(三)一											
(一)		(一)二	(二)四	(三)一											
(一)		(一)一	(二)一	(三)一											
(一)		(一)一	(二)一	(三)一											
(六)五		(一)二四	(二)七	(三)九											

(備考)

一、括弧内ハ中破又ハ毀損ノ程度ニ依リ工廠修理可能ノ數量ヲ示ス

二、果計ハ一三三七事變發生以降ノ延機數ヲ計上ス

(終)

二

(第三表)

支那事變關係航空機搭乗員重傷者員數表

(一三四三〇調)

1813

計	十三空		妙高	鳥瀧	木空			庫空		所屬傷者		航空(整備)料	計	記 事			
	漢口	宜昌	瓊州	山東北岸	南昌	P基地	漢口	鞏縣	第一基地	丹陽	樂昌				官(職)階	下士官	兵
計	一三 四二九	一三 四七	一三 一一二	一三 九三〇	一三 一一七	一三 一一六	一三 一一一	一三 一一八	一三 一一五	一三 一一二六	一三 九二七	一	二	三	一	三	括弧内ハ同官等ノ搭 發員數ヲ示ス
	(一)四	(一)一	(一)七	(一)三	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	
	(一)三	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	
	(五)四	(二)	(一)	(一)	(一)二	(一)二	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	(一)一	

(備考)

- 一、本表ハ一三七七事變發生以降ノ重傷者中死亡一名全治二名ヲ控除シタル員數ヲ計上ス
 - 二、本表ノ外一三一、二六P基地ニ於テ地上作業中重傷セシ搭乗員以外ノ二空(横)一名アリ
 - 三、一三三、一八W攻撃ノ際空中戦闘ニ於テ重傷ノ搭乗員下士官一名アルモ所轄官氏名等調査資料ニ記載ナキヲ以テ本表ニ計上セズ
- (聯合空襲部隊機密第四二三番電参照)

(終)

（第四表）

所轄別航空機（搭乗員）缺員調査表（一三、四、三〇調）

（註）

一、本表ハ昭和十三年三月一日以降同年四月三十日迄ノ期間ニ於ケル缺損事項ヲ掲記ス

二、記事中消耗機トアルハ週間消耗報告（通報）數量中同期間内ニ含マルル墜落沈没焼失及行方不明等缺損事由明瞭ナルモノヲ控除シタル殘數量ヲ計上シタルモノナリ

（終）

五

1814

鹿
空

鹿 空	所 轄
一三 四、一	(年 月 日 時 間)
九 六 艦 爆	機 種
一	器 材
	人 材
調 第 一 航 空 基 地 ニ 不 時 着 ノ 際 大 破 修 理 不 一 三 四、一、 一 聯 空 機 密 第 六 〇 四 番 電	損 耗 記 事

1815

六

木

空

木 空		所 轄
(一五〇〇) 一三、 三、一四	(一〇一五) 一三、 三、一	(年月日 時間)
九六陸攻 (三菱一二號)	九六陸攻 (三菱六一號) 同七六號	機 種
一	二	器材 損 人 材 耗
南郷攻撃ノ目的ヲ以テ中攻十二機(指 揮官菅久少佐)〇八一〇時發進一三三 〇時迄全機歸着セルモ一機脚故障ノ爲 著陸ノ際大破修理ニ長時間ヲ要ス 塔乗員無事	一三、二六P基地ニ敵機來襲爆彈ノ爲 一三、二六P基地ニ敵機來襲爆彈ノ爲 重要破綻(戦死傷者九名ヲ出セル) 損失(戦死傷者九名ヲ出セル) 損調査表其ノ三、六頁参照)	記 事

七

1816

加 價	加 價			所 購
	(一三、 四一三)	(一三、 四一〇 二四一五)	(一三、 三一五 二四〇八)	年 月 日 (時 間)
	九六艦爆	九六艦戦 (佐兵三三號)	九六艦爆 (愛知一二號)	機 種
	二	一	一	器 材
		一	二	損 耗 人 材
	第一、二次攻撃隊(艦爆十八機艦戦六機) 天、河、白雲飛行場爆撃直後、白雲上空ニテ 敵機ト交戦艦爆二機、石水道ニ不時着 飛行機ハ統爆撃ヲ以テ破壊沈没セシム 搭乗員ハ望月及香久丸水偵ニ全部收 容セラレ、艦爆小隊長阿部中尉背部 ニ輕傷ヲ負ヒタリ	二時頃、突入沈没 搭乗員 戦死 (荒巻機)	萬山諸島沖合、加賀上空、高度千五百米附 近ニ於テ直衛兼試飛行任務中、一四一五 ニ突入沈没ノ為、高度五百米附近ヨリ海中 以角山島附近ニ於テ連絡絶ユ一四〇八時 ル後、歸還ノ途上、艦爆一機、歸路ヲ失ヒ、牛 爲發進沙口、坪兩方、鐵橋附近ヲ爆撃シ、タ 艦攻六機、艦爆十四機、粵漢鐵道攻撃ノ 角山島附近ニ於テ連絡絶ユ一四〇八時	記 事

1817

加 價				所 轄
(一三) 四一三		(一三) 四一三 (二〇〇)		年 月 日 (時 間)
九五艦 戰		九六艦 戰		機 種
一	一	二	一	器 材
	一	二	一	損 耗 人 材
				記 事
毀損消耗機 (一三、四一四、一航戰機密第七九二番電 参照)		前掲空中戰闘ニ於テ艦載二機一二〇〇 時頃行方不明 搭乗員永徳一空曹、毛利三空曹		第一次攻撃隊(艦爆十八機艦戰六機) 天河白雲爆撃直後白雲上空ニ於テ敵機 ト交戦中艦載一機空中火災ヲ起シ敵陣 ニ突入 搭乗員宮里三空曹 戦死
加價泊地上空直衛任務ヲ以テ行動中著 艦ノ際海中ニ墜落 搭乗員今林三空曹 戦死				

加
價

加 價		所 轄
		年月日 (時間)
九六艦攻	九六艦爆	種 種
一	一	器 材 損 耗
更新機 (一三、四一七)航戰機密第八一〇番電参照	第二次攻撃隊(艦爆九、艦攻二)ハ粵漢鐵道之ヲ石驢附近砲臺ノ目的ヲ以テ前進之ヲ破壊シ歸途燃料多ク漏洩萬山諸島知床附近ニテ不時着塔乗員無事飛行機ハ加爾ニ收容セラレタルモ使用不能	龍嶽隊(九機)廣九線攻撃ノ爲發進石龍嶽西(八機)ノ線路砲臺中艦爆一機引起中(高度計四〇〇)ノ破片(長サ約三〇)飛來シテ同銃ヲ破曲セシメ且附近洞體數ヶ所ヲ損傷爾後ノ使用不能 塔乗員 異狀ナシ

一〇

1819

蒼龍

蒼龍	所轄
一三 四、一二 二六二〇	年月日 (時間)
九六艦爆 (愛知一四號)	機種
一	器材
	損耗 人材
事後波飛行場偵察攻撃ノ爲發進任務終了 プシ其ノ機滑走制止索ニ激突大破 塔乗員無事	記事

1820

沖島	足柄	所轄		
(一三三、三二五)	(一一三、三一二)	(年月日)		
九四水信	九五水信	機種		
一	一	器材	損	
		人材	耗	
能七機五自 ト番銃軒治 ナ斜ノ四聯 ル側往ヲ口合 ニ貫ニヲノ車 異要通左敵作 状更爾後浮密戰 ナシ後ノ舟後銃集ニ 後ノ戰端ヨリ爆擊中 使用右側敵方	口○共威 ノ時ニ海 爲歸協衛 浸邊力方 水着極面 顛覆敵ノ 中破際擊 敵彈シタ ノ爲輕傷片ニ依ル破	威海衛方面ノ強敵掃蕩陸戰ニ球磨機ト 共ニ協力極力敵ヲ攻撃シタル後一二 ○時歸邊着水揚收ノ際敵彈片ニ依ル破 口ノ爲浸水顛覆中破 球磨機信察員一名敵彈ノ爲輕傷	記	事

香久丸		所轄	
一三 四二七	一三 四一	(年月日 時間)	
九五水信	九五水信	九四水道	機種
一	二	一	器材 損耗
		器材 損耗	
片下九攻九 塔主五繫四 乗テ翼式中 員兩ニ一東 異舟命機莞 狀其炸敵北 ナノ裂大口 シ他破徑西 傷大機五 中孔銃附 破ヲノ統近 生猛梁 ゼ射彗 シヲ 外受 彈ケ際	一サ導軸損基使 三ザ齒連主準用 四リ車結主翼時 一シ缺齒翼後數 一モ損車落部多 三此ノ一承軸九折 航ノ發用止六疊 戰際機生セ折百 機機材更リ幸損 密第新ヲ犧同整 第五三ヲ犧同整 一三三ヲ犧同整 一番電ス者輪機 一電一ス者輪機	記 事	

神川丸		所 轄
(二〇一〇)		年 月 日 (時 間)
九五水偵		機 種
一	一	器 材
二	二	人 材
前掲不特着機ヲ認メタル虞機(六)一 六號(第一小隊一番機)ハ之ヲ救助 セントスルモノノ如ク不時着機附近ニ 着セルモ向所附近ハ河流曲折多ク且 水深接離着水困難ナル地黏ナリシ爲 遂ニ顧覆大破セリ (山下機)	搭乗員ノ行方不明ニ 六一〇一號機ハ地上ニ 万七ノ行方不明ニ 搭乗員ノ行方不明ニ (加用機)	記 事 透東省海軍飛行場攻撃ノ爲〇九二〇時 九式水偵五機ヲ以テ〇九二〇時 一〇一〇時攻撃直後第二小隊五番機 一〇一〇時江上ニ銃ヲ受ケ海軍 六一〇一號機ハ地上ニ 万七ノ行方不明ニ 搭乗員ノ行方不明ニ (加用機)

		所 轄	
		(年 月 日 時 間)	
		機 種	
		器 材	損 耗
		人 材	
十二空 一三 二九 四五五		二	
九六艦隊			
二			
二			
<p>W 攻 擊 隊 十 三 空 中 攻 十 八 機 (指 揮 官 砌 町 少 佐 一 九 六 艦 隊 二 十 七 機 (指 揮 官 小 園 少 佐 一 八 一 三 五 五 時 頃 基 地 上 空 二 敢 於 テ 合 同 進 撃 一 五 四 〇 時 頃 W 上 空 二 五 時 頃 突 入 敵 陣 ナ ル 空 戦 ヲ 交 へ 一 五 四 五 時 頃 爆 撃 實 施 一 八 〇 〇 時 迄 中 攻 十 六 機 艦 戦 二 十 五 機 々 々 〇 時 迄 中 攻 十 六 機 艦 此 ノ 戦 鬪 ニ 於 テ 艦 隊 一 機 (高 橋 機) E 一 五 型 ト 空 中 衝 突 粉 碎 、 一 機 (藤 原 機) 被 弾 損 傷 シ 燃 料 漏 洩 ノ 甚 大 湖 附 近 迄 避 退 セル 後 行 万 不 明 ト ナル 、 其 ノ 他 輕 微 損 傷 三 機 餘 ノ 撃 墜 セル 敵 機 三 十 五 機 戦 鬪 機 隊 ノ 撃 墜 セル 敵 機 三 十 五 機</p>			

1824

十三空

十三空		所 轄
一三、 四、 七 (一一一)	一三、 三、 二七 (二四二〇)	年 月 日 (時 間)
九 六 陸 攻	九 六 艦 戰	機 種
	一	損 耗 器 材 人 材
一 (整)		記 事
<p>宜昌飛行場攻撃ノ歸途京漢線東方約二 〇哩ノ上空ニ於テ敵戰艦十六機ニ遭 遇交戦約二十分ニシテ之ヲ撃退シ内 機ヲ撃墜セリ此ノ中戦艦ニ於テ搭乗 下士官兵二名重傷内一名著陸後戦死 乗</p>	<p>無艦時機十除ニ加三T 塔事陸着ハ三ニ於價機空 乘之戰中一三ニ於於三機 員ヲ隊破四一合テ補機一 ハ揚ノ飛一機同補給ノ空 鳩收協行〇ヲ空ノ八五中 ニセ力機時除襲上〇十 救依ハ附網キ參加〇時 助(リ近附陵P基加〇時 セ)結解ニ近附地一五時 レ川体在ノ歸還〇時 無機一リ成歸還〇時 事)九シ成歸還〇時 二鳩洲艦戰迄中 〇外ニ戰迄中 時各不</p>	<p>三空機十二空ノ中 隊ノ攻隊掩護ノ爲 艦戰二十 空三 地三</p>

一六

1825

十三空		所轄	
(二〇三〇)	一三、 四二六	(三三二五)	一三、 四一五
九六陸攻		機種	
一	一	器材	損
八	七	人材	耗
吐烈ナル戦死ヲ遂ケタルモノト認定ス ○外字(中央漂準時)敵機ト空戦嗣後 モ出着セズ行方不明ハ二六日一五三 幸感奇襲ヲ企圖ナク二〇三〇時ニ至ル 雲ヲ利得シ中攻草機(指揮官得落少佐)	機失ヲ爆敬二ハT 五ヒ受撃中二一攻 機爾ケセリ三〇八撃 十六行三其一時〇象 日方二ノ三時T時攻 ○不明時後T耐戊六 〇ト頃敵新飛上空ニ進 〇ナレ小闘機ノヲ發シ極力索 時戊基(前田機)ヲ見撃 地歸着	記事	

十三空

十三空			所轄
(二五四五)			年月日 (時間)
九六陸攻			機種
		二	器材
_(偵)	_(偵)	一四	損耗
前掲攻撃隊第二小隊三番機(山口機)	死ニ於ケル激烈ナル空中戦ニ於テ機上戦	中息集附此十施ナ撃ハ九W 攻不團近ノ五一ル一六攻 隊明射ヨ戰機八空五三撃 ノ射撃リ戰夫〇中四五戦 撃(中受ヲ火ヲ於テ中一機 撃(中島機、布田機)ノ機ハ セル機、視界内ヲ去リ消	記 事

一八

1827

艦隊

四艦隊	支那方面艦隊	所轄	損耗		記事
(一三二七)	(一三三八四〇)	年月日	器材	人材	
九二艦攻	ヲツツの式偵察機	機種	一	一	
一	一				
一力艦 塔機 乘敵 員章 ノノ 徽爲 傷不 時着 機離 體發 大進 破直 後攻 略ノ 中協	時發察青 塔着動機島 乘機停○、 員機停止四、 無中シ○時 事破飛行離 行場陸航 場北直空 西後ヲ 万ヲツツ 丘同の 凌の 上ノ ニ 不爲				

佐
鎮

佐 鎮	所 際
(一三 三、一 〇二〇 五)	(年 時 月 日 間)
九 一 飛 艇	機 種
一	器 材
二	人 材
海軍航空要員四名(朝日新聞社飛行士 二機士一、通信士一、新開社飛行士 事務機士一、官待遇)空輸任務ヲ以テ 事務向ケ福岡飛行場離陸セントシ 上那海向飛機立大破 事務機士各一名殉職 判飛行士、通信士、各一名殉職	記 事

(終)

〇〇

1829

航空機密第六號ノ九

昭和十三年四月三十日

軍極秘

8
30

支那事變關係航空機ノ行動ニ影響セシ故障調査表

其ノ四

海軍航空本部教育部

處分法	内 容		
	本文	註記	目次
用済後必要焼却	二〇頁	一頁	一頁

1830

支那事變關係航空機ノ行動ニ影響セシ故障調査表 其ノ四

目次

一、支那事變關係	自二三、三一 至二三、四、三〇	(航空機ノ行動ニ影響セシ故障(器材關係)調査表)	(第一表)	頁	二
二、航空機ノ行動ニ影響セシ所轄別故障(器材關係)調査表			(第二表)		三
三、支那事變關係	自二三、三一 至二三、四、三〇	(航空機ノ行動ニ影響セシ故障(天候氣象其ノ他)調査表)	(第三表)		八
四、航空機ノ行動ニ影響セシ所轄別故障(天候氣象其ノ他)調査表			(第四表)		九

(終)

(註記)

- 一、各表ハ昭和十三年三月一日以降同年四月三十日迄ノ期間ニ就本教
育部ニ於テ接受セル戦闘概報、諸情報等ニ依リ調査ス
- 二、左ノ電報ハ爲参考掲録ス

(参照)

- 一二、八、二一 宛 鹿空、木空司令
(軍令部第一部長、三任除参謀長) 發 一階空司令官

機密第一五六番電

本日ノ揚州空襲爆撃ノ結果ニ鑑ミ空襲ハ穩密ニ實施スルヲ本旨トシ特ニ
警戒ヲ嚴重ニシ航空基地空中襲撃ノ際萬一攻撃目標ヲ發見シ得ザル場合
ニハ決シテ執著スルコトナク目的ヲ達シ得ズ共斷然引揚ゲル等ニ關シ特
ニ留意スベシ

二二一—二二二時

(終)

一、支那專使關係航空機ノ行動ニ影響セシ故障
（器材關係）調査摘録

1833

(第一表)

支那事變關係 (自二三、三一 至同四、三〇) 航空機ノ行動ニ影響セシ故障 (器材關係) 調査表

(一三、四、三〇調)

所 故 障 機 種	陸 攻	艦 戰	艦 爆	艦 攻	水 偵	艇 D	計	所 故 障 機 種																			
								九 五 九 六 九 五	九 六 九 六	九 四 九 六	九 六 九 四	九 五 九 五	一 三 一 五	一	計	十三 空	十二 空	神 川 丸	能 登 呂	加 賀	鹿 空						
								九	二	三	一	三	九	一	一	三	九	一	九	二	三	一	三	九	一	九	
								二	三																		
								一三																			
								二																			
								三																			
								四																			
								一																			
								七																			
								二二〇																			
								三																			
								二二																			
								二																			
								九																			
								三																			
								一																			
								一八																			
								七																			
								三																			
								二二																			
								二																			
								七三																			

(備考)

- 一、原因同一ニシテ故障程度大ナルモノ (墜落、大破、焼失等) ハ 航空機重要缺損調査表ニ掲載シ本表ニハ計上セズ
- 二、累計八一三七七事變發生以降ノ延機數ヲ示ス

(終)

(第二表)

航空機ノ行動ニ影響セシ所帯別故障(器材關係)調査表

(一三四三〇刷)

(註)

調査資料中故障原因不詳ニシテ單ニ「故障ノ爲」トアルモノモ本表中ニ之ヲ含マシム

(終)

三

加賀	鹿空	隊(艦)名
<p>一三 四一三 一三</p>	<p>一三 三、二七 一三</p>	<p>月 日 (時間)</p>
<p>九六艦戦 (三)</p>	<p>九六艦戦 (三)</p>	<p>九六艦戦 (一)</p>
<p>天河白雲飛 行場攻撃</p>	<p>W 空襲</p>	
<p>第一、二次攻撃隊(艦爆十八機、艦載機十機)の發進準備中、機中艦載機三機故障(發火栓汚損一機、排油管龜裂油漏洩一機)ノ爲、速度齒車室龜裂油漏洩一機ノ爲、不 已得發進ヲ断念セリ</p> <p>聯合空襲部隊ノ中、攻隊掩護隊艦載機二十七機(十二空一〇機、十三空八機、鹿空一機)加賀八機(ハ一三三〇時)基地發進中、攻隊ト合同W空襲ニ向ヒタルモ加賀機中三機(内一機ハ指揮官中野少佐機)ハ故障其ノ他ニ依リ途中ヨリ引返セリ</p> <p>聯合空襲部隊ノ中、攻隊掩護隊艦載機二十七機(十二空一〇機、十三空八機、鹿空一機)加賀八機(ハ一三三〇時)基地發進中、攻隊ト合同發進ノ處鹿空一機ハ故障ノ爲途中ヨリ引返セリ (指揮官 十三空 吉富大尉)</p>		

隊(艦名)	月日(時間)	機種(機數)	任務	記
加賀	一三 四月一三 (一四一一)	九六艦戰 (三)	天河白鷺飛 行場攻撃	第一次攻撃隊ニ參加ノ爲九六艦戰九 機ノ九五艦戰ニ參加ノ爲九六艦戰九 機ノ外出發後一機ノ小隊長機一機ノ 機ノ汚損シ震動大トナリ同小隊三機途 中ヨリ引返セリ
能登呂	一三 三月二五 (一一一一)	九五水偵 (三)	星子軍官學 校攻撃	第二聯合航空隊ノ艦攻艦爆隊ノ種護 部隊トシテ星子軍官學校攻撃ニ參加 爲途ヨリ引返セリ
神川丸	一三 四月八 (一一〇〇)	九五水偵 (一)	海嶽飛行場 攻撃	同艦不時着機搜索並ニ海嶽飛行場攻 撃ノ爲〇八五五時發進セシモ九五式 水偵一機油壓計油管切斷潤滑油漏洩 ノ爲反轉辛ジテ歸還セリ
十二空	一三 四月二九 (一四二〇)	九六艦戰 (三)	W空襲	攻撃隊中攻十八機(指揮官棚町少佐) 九六艦戰ノ全力(三十機)(指揮官 小園少佐)一三五五時Q基地上空ニ於 テ合同遠襲ノ處中停戰三機故障ノ爲途 中ヨリ引返セリ

十三空		隊(艦)名
一三 四一八 (〇三三五)	一三 四一二 (一一一)	月 日 (時間)
九六陸攻 (一)	九六陸攻 (一)	機 種 (機數)
T 攻 撃	T 飛 行 場 攻 撃	任 務
中一機發動機不調ノ爲途中ヨリ引返 佐一機發動機不調ノ爲途中ヨリ引返 T攻撃隊中攻六機(指揮官棚町少)	中ヨリ引返セリ 向ヒタルモ中一機發動機故障ノ爲途 尉ハ一八三〇時戌基地發進攻撃ニ T攻撃隊中攻三機(指揮官足立中)	記 事

二、支那事變關係航空機ノ行動ニ影響セシ故障

(天候、氣象
其ノ他)

調査摘録

(第三表)

支那事變關係(自一三、三、一)航空機ノ行動ニ影響セシ故障(天候、氣象)其ノ他(一三、四、三〇調)調査表

所 故 機 種	陸 攻	艦 戰	艦 爆	艦 攻	艦 偵	水 偵	計	所 故 機 種											
								鹿 空	木 空	加 賀	神 威	能 登 呂	香 久 丸	神 川 丸	衣 笠 丸	十二 空	十三 空	計	
九五	九六	九五	九六	九二	九七	九四	九五	鹿空	木空	加賀	神威	能登呂	香久丸	神川丸	衣笠丸	十二空	十三空	計	累計
二四	三	一〇					二七	二	三	二	一	一	三	一	三	二	五	二五	二四七
九六	九六	九六	九六	九六	九六	九六	二七												三二四四
九六	九六	九六	九六	九六	九六	九六	二七												七九一
九六	九六	九六	九六	九六	九六	九六	二七												七二二
九六	九六	九六	九六	九六	九六	九六	二七												六四一
九六	九六	九六	九六	九六	九六	九六	二七												六八二五八
九六	九六	九六	九六	九六	九六	九六	二七												九一七
九六	九六	九六	九六	九六	九六	九六	二七												六八二五八
九六	九六	九六	九六	九六	九六	九六	二七												六四八

(備考)

一、本表ハ飛行機ノ進發後ニ於ケル天候氣象ノ關係ニテ其ノ任務ヲ遂行シ得ザリシモノノミヲ計上ス

二、累計ハ一三、七七事變發生以降ノ延機數ヲ示ス

(終)

(第四表)

航空機ノ行動ニ影響セル所諸別故障

(天候氣象
其他)調査表

一三、四、三〇調

(註)

天候氣象其ノ他海上ノ模様等ニ依リ飛行機ノ發進ヲ中止シ又ハ
延期(見合)セルモノ及出發後天候氣象ノ障害ヲ受ケ攻撃目標
ヲ發見シ得ズシテ其ノ目標ヲ轉ジ機宜行動セシモノハ本表ニ含
マズ

(終)

鹿空		隊(艦)名	月日	機種	任務	記事
一三、 三、二五 (二二四五)	一三、 三、一八 (〇四二〇)	一三、 三、一五 (二三四〇)		九六陸攻 (三)	南昌第三次 攻撃	一聯空命令ニ基キ中攻三機南昌第三 次攻撃ノ爲ニ〇〇時發進ノ處濃霧 襲來セシヲ以テ已ムヲ得ズP基地ニ 歸還セリ
九六陸攻 (六)	九六陸攻 (三)	九六陸攻 (三)		W攻撃 (武漢驛及倉庫)	T夜間攻撃	T攻撃隊中攻三機(指揮官寺井大尉) 〇一〇時發進鄱陽湖附近迄進撃セ シモ天候漸次悪化セルヲ以テ遂ニ攻 撃ヲ断念シ〇四二〇時基地ニ引返セ リ 高度三千米ニテ雲中ニ入り飛行機各 部永ヲ生ジタルモ各機異状ナシ
一三、 三、二五 (二二四五)	一三、 三、一八 (〇四二〇)	一三、 三、一五 (二三四〇)		九六陸攻 (六)	W攻撃 (武漢驛及倉庫)	一聯空命令ニ基キ中攻十八機(指揮 官加藤中佐)〇九二〇時發進一〇二 〇時近迄進出セルモ一面密雲ニシテ天 候次第ニ不良トナリタルヲ以テ攻撃 ヲ断念シ一二四時全機歸着

庵
空

<p>庵 空</p>	<p>隊(艦)名</p>
<p>(一三、 二四、 二四〇)</p>	<p>月 日 (時 間)</p>
<p>九六 機 (三)</p>	<p>機 種 (機 數)</p>
<p>W 攻撃 (中攻隊守衛)</p>	<p>任 務</p>
<p>前記、中攻隊守衛ノ爲ニ機ヲ加賀九機ト合同 一機、十時、基地附近迄達シタルモ、天 動ラナシ、目的地附近迄達シタルモ、天 候不良ノ爲ニ攻撃ニ歸遠シ、引返スル一 二〇時、P基地ニ歸遠シ、引返スル一 四</p>	
<p>記 事</p>	

1843

木
空

木 空			隊(艦)名
(二二四〇) 一三、 三、二五	(二四四〇) 一三、 三、一九	(〇七一五) 一三、 三、一九	(時 間) 日
九六陸攻 (七)	九六陸攻 (九)	九六陸攻 (六)	(機 種) 種
W 攻 撃	宜 昌 攻 撃	W 夜 間 攻 撃	任 務
シ モ 一 四 二 〇 時 全 機 歸 還	レ 迄 ニ 全 機 歸 還	全 機 引 返 セ リ	記 事
<p>時屋一 前頃部 路羅隊 天田及 〇候西 時不方 全良二 機ノ〇 歸爲理 還攻附 撃近迄 ヲ進 断撃 念セ 引ル</p>	<p>進ハ宜 撃一昌 セ〇攻 シ四撃 ガ五隊 前時九 路發機 下進一 万京指 全漢揮 ク線官 密雲山 一ニ附 四閉近 〇サ迄</p>	<p>之ヨル中 地ヲ攻 突天擊 附破候 近ノシ 天テ漸 候ハ的 愈々上 一不空 五ニ選 時シセ 迄テシ ニ遂モ</p>	<p>中攻隊六機ヲ以テ三〇時發進セ ル攻隊一指揮官三原大尉ハ途 ヨリ天候漸次悪化セルニモ不 之ヲ突破シテ目的地上空ニ選 同地附近ノ天候ハ愈々不良ニ ニ爆撃ヲ實施シ得ズ〇七一五 全機引返セリ</p>

一
二

1844

加賀		隊(艦)名
一三、 三、二七 (一八〇〇)	一三、 三、二五 (二二四〇)	(月 日 時 間)
九六艦 (一)	九六艦 (九)	(機 種 數)
W 空 襲	W 攻 撃 (中 攻 隊 掩 護)	任 務
シ 無 夕 事 ニ 塔 載 曳 航 セ リ 、 機 体 ハ シ ヤ	ニ 望 地 ヲ 斷 念 シ 引 返 ス 一 四 三 〇 時 P 基 地	記 事
料 映 乏 ノ 為 綱 陵 洲 ニ 不 時 着 、 搭 乗 員	一 三 、 三 、 二 七 、 二 二 四 〇	W 攻 撃 中 野 少 佐 一 二 三 機 同 一 機 一 〇 三 〇 時 Q
十 三 空 襲 加 賀 機 五 機 中 一 機 搭 乗 員	一 三 、 三 、 二 五 、 二 二 四 〇	官 機 、 野 鹿 空 三 機 ト 同 一 機 一 〇 三 〇 時 Q
聯 合 空 襲 部 隊 ノ 掩 護 隊 ト シ テ 十 二 空	一 三 、 三 、 二 五 、 二 二 四 〇	W 攻 撃 中 野 少 佐 一 二 三 機 同 一 機 一 〇 三 〇 時 Q

機名	機種	機名
九五水偵 (四) 九四水偵 (六)	九五水偵 (三)	機種 (機數)
空襲	粵漢線攻襲	任務
ヲ入善一笠聯 斷不シ五丸合 念可タル二機空 シ能ナルモ寺聯部 引ナル同頃合 返ス一狀方北 七トナハ欲三 五ナリタルヲ加 〇時全機襲着	午後 ニ向ヒタルモ再 濶ヲ取止メ歸還セリ 濶ヲ取止メ歸還セリ 濶ヲ取止メ歸還セリ 濶ヲ取止メ歸還セリ	記 事

香久丸			隊(艦)名
一三 三、一二 (一一一)	一三 三、一〇 (一一一)	一三 三、六 (一一一)	月日 (時間)
九五水偵 (一)	九五水偵 (二)	九四水偵 (一)	機種 (機種數)
内陸方面ノ天 候偵察及攻撃		天候偵察及攻 撃	任 務
泊地天候不良午後九五式一機先發内 陸方面ノ天候偵察ヲ實施セシガ各方 面共雲高濃ネ二〇〇米以下ナリシヲ 以テ攻撃ヲ取止メタリ	終日細雨雲低シ午後天候偵察ヲ兼ネ 發進セシメタルモ内陸一帯依然低雲 ノ爲進入スルヲ得ズシテ引返セリ	泊地終日霧斷續シテ襲來ス午後天候 偵察ヲ兼ネ攻撃ニ向ヒシモ雲低ク内 陸ニ進入シ得ズシテ引返セリ	記 事

神川丸	隊(艦)名
一三 三三 三三 (一一一)	(月) 日 (時) 間
九五水偵 (一)	(機) 種 (機) 數
天候偵察及 攻撃	任 務
午前九時五分機天候偵察ヲ兼ネ攻撃 ニ向ヒタルモ内陸一帯依然低雲ノ爲 進入スルヲ得ズシテ攻撃ヲ取止メ歸 還セリ (午後ニ至ルモ天候恢復セズ)	記 事

1848

衣笠丸		隊(艦)名
(時)月 (間)日	(機)機 (數)種	任 務
一三 四二一 (一一一)	九五水債 (一)	偵察攻撃 水路及沿岸 荻港彭澤間
一三 四一三 (二五二五)	九四水債 (二) 九五水債 (一)	W空襲
一三 四一三 (一一一)	九五水債 (一)	W空襲掩護
時着小鷹ニ收容セラ 五式一機燃料不足ニテ開源碼頭ニ不 察攻撃ノ爲荻港津山磯障地爆撃後九 西大尉ハ荻港彭澤間水路及沿岸偵 九五式二機、九四式一機(指揮官小 九四水債三機、九五水債二機(指揮 官松本空曹長)ハ香口爆撃ノ歸途九 五水債一機潤滑油不足ノ爲蕪湖下流 ニ不時着 附近ニアリシ梅ヨリ補給ヲ受ケ歸着 セリ	記 事	
		聯合空襲部隊十二空、十三空、能登 呂機ト聯合W空襲ニ参加セルモ一五 二五時頃W北方約三〇哩附近ニ達シ タルモ同方面ハ雲高低ク雨ヲ伴ヒ侵 入不可能ナル状態トナリタルヲ以テ 攻撃ヲ断念シ引返セリ

十二空		隊(艦)名
一三 四一三 (一五二五)	一三 三二五 (一三二〇)	(時)月 間)日
九六艦戰 (十)	九六艦戰 (〇)	(機)機 數)種
W 攻 撃	W 攻 撃 (中攻隊掩護)	任 務
全機歸着 以テ攻撃ヲ断念シ引返ス一七五〇時 雨ヲ伴ヒ侵入不能ノ状態ナリク 附近ニ達シタルモ同方面ハ雲高低ク 進樹ネ一五二五時頃W北方約三〇溼 隊ト一三四〇時上空中ニ於テ合同發 W空襲ヲ企圖シ十三空中中攻隊及艦戰	地爲目的時空(W 歸攻的的Q三十二 還撃地地基地機 ヲ附近ニ進同隊ト同行動ヲナシ 断念引返シタルモ天候不良ノ 念引返シタルモ天候不良ノ 念引返シタルモ天候不良ノ	記 事

十三空	十三空				除(艦名)
	(一三) 四、一五 (一一一)	(一三) 四、一三 (一五二五)	(一三) 四、二 (〇八〇〇)	(一三) 三、二五 (一二四〇)	(月日) (時間)
	九六陸攻 (六)	九六艦戰 (九)	九六陸攻 (九)	九六艦戰 (十)	(機數)
	漢口攻撃	W 攻撃	固始飛行場 攻撃	W 攻撃 (中攻撃掩護)	任 務
	漢口方面夜間攻撃ヲ企圖中攻六機發 進二一〇時頃漢口上空ニ達シタル モ濃密ナル濃氣ノ爲目標視認困難ノ 爲攻撃ヲ断念引返セリ	W 攻撃ヲ企圖シ中攻隊、艦戰隊(十 二空艦戰二十一機ヲ含ム)ハ一三四 〇時頃上空ニ於テ合同發進概ネ一五 二五時頃北方約三〇哩附近ニ達シ タルモ同方面ハ雲高低ク雨ヲ伴ヒ侵 入不可能ノ状態トナリシヲ以テ攻撃 ヲ断念シ引返ス一七五〇時全機歸着	固始飛行場 爲發進セシモ天候不 良ノ爲引返シ〇八〇〇時全機歸着セ リ	W 攻撃中攻隊掩護ノ爲十二空一〇機 艦空三機、加賀九機ト同一行動ヲナシ 時Q差地發進同際ト同一行動ヲナシ 目的地附近迄達シタルモ天候不良ノ 爲攻撃ヲ断念シ引返ス一四三〇時P 基地ニ歸還	記 専

一九

十三空	陸(艦)名
一三 四、一八 (〇二五〇)	(時)月 間)日
九六陸攻 (三)	(機)機 (艦)艦
第四 次W 攻	任 務
第四 次W 攻 際 中 尉 一 三 〇 時 發 進 〇 四 〇 五 時 頃 W 上 空 ニ 侵 入 シ タ ル モ 煙 霧 及 探 照 灯 光 ニ 妨 ゲ ラ レ タ ル 目 標 ヲ 確 認 ス ル ニ 至 ラ ズ 攻 撃 ヲ 断 念 シ テ 逃 避 ス ル 四 〇 全 機 歸 着	記 事

(終)